

平成26年度予算(案)のポイント

平成26年2月17日

小樽市財政部

※ 数値は概数のため、端数は合わないことがある。

※ 前年度比は、平成25年度当初予算額との比較

1 予算編成のポイント

○将来を見据えた諸課題への対応

病院の統合新築、学校再編に伴う校舎等改築、社会資本の耐震化や既存インフラ施設の老朽化対策、北海道新幹線新駅周辺のまちづくり計画の策定など

○重点施策

安全・安心な暮らしのための取組

〔迅速な避難行動を図るための避難支援事業、民間大規模建築物の耐震診断経費の助成、道路・トンネルなどの道路ストックを点検し修繕計画の策定など〕

市内経済の活性化に向けた取組

〔「企業立地トップセミナー」の参加企業等に対するフォローアップ、クルーズ客船の誘致推進、クルーズ客船などに対応する施設の整備、旧国鉄手宮線の整備など〕

次代を担う子どもたちへの取組

〔銭函保育所・子育て支援センターの建設、奥沢保育所での「延長保育」「産休明け保育」の実施、小学校へのデジタル教材（実物投影機）の整備など〕

○財政健全化に向けた取組を、引き続き継続

必要性・有効性を検証し、事業を厳選

2 予算規模

① 一般会計	561.9億円	(前年度比	▲15.2億円	▲2.6%)
② 特別会計	350.9億円	(前年度比	+1.0億円	+0.3%)
③ 企業会計	336.9億円	(前年度比	+64.4億円	+23.6%)
全会計	1,249.7億円	(前年度比	+50.2億円	+4.2%)

3 収入状況

○ 地方税が伸びない中、実質的な地方交付税が減少

※ 実質的な交付税・・・地方交付税＋臨時財政対策債

○ 平成26年度も引き続き、財源不足が生じる状況



○ 財政調整基金の活用により、収支均衡予算を編成

① 一般財源収入	335.6億円	(前年度比	▲4.6億円	▲1.4%)
② 必要な一般財源	344.5億円	(前年度比	▲7.8億円	▲2.2%)
③ 財源不足額	8.9億円	(前年度比	▲3.2億円減少)	
④ 財源対策	財政調整基金の取崩し(8.9億円)により、収支均衡予算を編成			

平成26年度予算編成の状況(一般会計・一般財源ベース)

※ 各項目で四捨五入しているので、
合計や増減額が合わないことがある。

	平成25年度	平成26年度	増・▲減 [単位:億円]
一般財源収入 (財源対策前) (A)	340.2	335.6	▲4.6 (▲1.4%)
	↓	↓	
歳出充当一般 財源必要額 (B)	352.4	344.5	▲7.8 (▲2.2%)
	↓	↓	
財源対策前の 財源不足額 (A) - (B)	▲12.2	▲8.9	▲3.2
	↓	↓	
(財源対策) 財調取崩	12.2	8.9	← 財政調整基金残高 12.2 (5定補正後)
	↓	↓	
	収支均衡	収支均衡	

※ 主 な 増 減

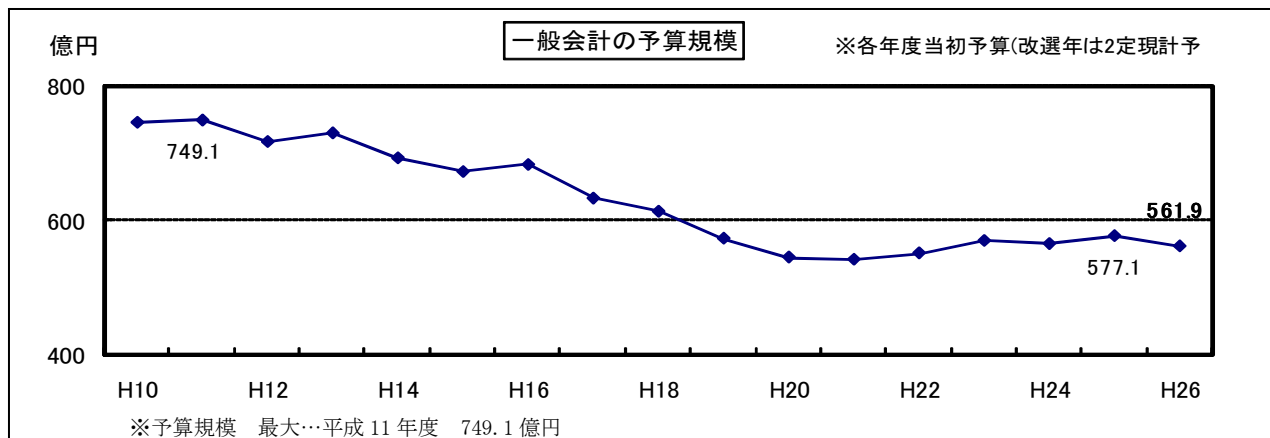
譲与税・交付金 +1.0
地方交付税 ▲4.5
臨時財政対策債 ▲1.0

※ 主 な 増 減

人件費 +1.4
公債費 ▲4.1
維持補修費 +1.1
建設事業費 ▲2.1
繰出金 ▲6.6
その他 +2.5

平成26年度一般会計予算(案)の概要

1 予算規模 561.9億円(対前年度比 ▲15.2億円)



2 歳入

○市税 131.5億円(対前年度比 +0.1億円)

[単位: 億円]

区分	平成26年度	平成25年度	増減	伸び率
市民税	個人	42.9	43.3	▲0.4
	法人	13.5	12.3	1.2
固定資産税	52.6	52.7	▲0.1	▲0.2%
都市計画税	10.1	10.1	0.0	0.0%
たばこ税	10.9	11.5	▲0.6	▲5.2%
その他	1.6	1.5	0.1	6.7%
合計	131.5	131.4	0.1	0.1%

○譲与税・交付金 20.3億円(対前年度比 +1.0億円)

地方消費税交付金(+1.5億円)、自動車取得税交付金(▲0.3億円)

○地方交付税 161.2億円(対前年度比 ▲4.5億円)

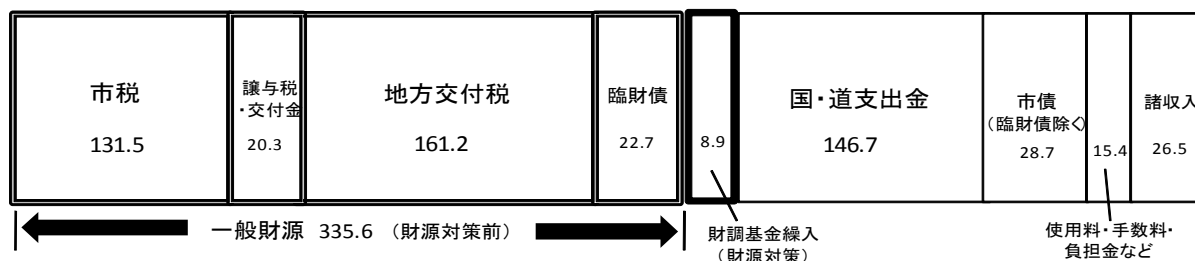
[単位: 億円]

区分	平成26年度	平成25年度	増減	伸び率
地方交付税	161.2	165.7	▲4.5	▲2.7%
普通	152.2	155.2	▲3.0	▲1.9%
特別	9.0	10.5	▲1.5	▲14.3%
臨時財政対策債	22.7	23.7	▲1.0	▲4.2%
合計	183.8	189.4	▲5.6	▲3.0%

○国・道支出金 146.7億円(対前年度比 +9.5億円)

○市債 51.4億円(対前年度比 ▲11.5億円)

学校給食施設整備(▲14.7億円)、消防救急無線デジタル化(+2.1億円)など



3 歳 出 （経費別）

○人 件 費 92.9億円 （対前年度比 +2.1億円）

給与の独自削減率の圧縮(+1.4億円)など

○扶 助 費 175.9億円 （対前年度比 +5.5億円）

臨時福祉給付金(+4.5億円)、子育て世帯臨時福祉給付金(+1.2億円)など

○公 債 費 61.7億円 （対前年度比 ▲4.1億円）

元金(▲2.9億円)、利子(▲1.2億円)

○負担金補助
及び交付金 45.0億円 （対前年度比 +0.2億円）

○維持補修費 14.4億円 （対前年度比 +1.1億円）

除雪費(+0.8億円)、非構造部材耐震化(+0.2億円)など

○建設事業費 30.5億円 （対前年度比 ▲9.6億円）

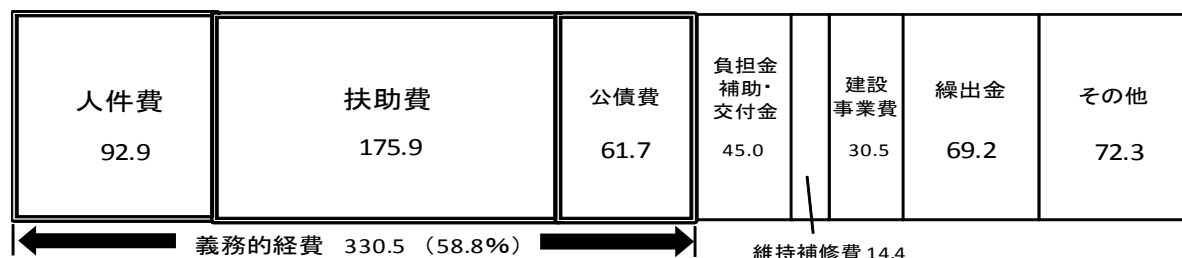
新共同調理場(▲17.3億円)、奥沢保育所(▲2.7億円)、銭函保育所(+3.5億円)、
手宮統合校(+2.5億円)、消防デジタル化(+2.1億円)、観光物産プラザ等屋根改修(+1.3億円)

○繰 出 金 69.2億円 （対前年度比 ▲4.5億円）

病院(▲6.0億円)、簡易水道(+1.0億円)など

○そ の 他 72.3億円 （対前年度比 ▲6.0億円）

土地開発公社貸付金(▲6.4億円)など



4 市債残高見込み（全会計）

平成26年度末の市債残高見込み 1,063.1億円（対前年度比+33.6億円）

